

第2章 総合戦略編

総合戦略とは、人口ビジョンに示された本町人口の現状と将来の姿を踏まえ、本町の実情に応じた今後5か年の基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

- 目的：本町の人口減少の克服と地方創生の実現を図ります。
- 位置付け：第5次中山町総合計画の基本構想、基本計画の一部として位置付けます。
- 対象期間：平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）までの5か年の計画です。
- 重点プロジェクト・主要な事業：人口ビジョンに示された4つの基本目標を達成するための重点施策を重点プロジェクトと位置付け、重点プロジェクトを推進するための具体的な施策を主要な事業として、図表3に主な事業を掲載しています。
重点プロジェクト及び主要な事業については、平成28年度以降、優先順位の高いものから順次、実施に移されます。

図表3 主要な事業

基本目標	重点プロジェクト	主要な事業（抜粋）
なかやまの資源や立地条件を活かして雇用を創出	(1)町内中小企業への支援による雇用の確保	・経営基盤強化のための支援 ・商業機能の強化や集積のための支援ほか1事業
	(2)企業誘致や新規創業による雇用の確保	・なかやま西部工業団地への企業誘致の促進 ・道の駅等の整備（整備計画の策定）
	(3)農業の振興による雇用の確保	・新規就農者の確保と人材・組織等の育成 ・町内農産物を加工した6次産業化の推進ほか1事業
なかやまへ住もう・帰ろうの流れを創出	(1)定住環境の整備	・若い世代向けの優良賃貸住宅の整備 ・空き家を活用した定住環境の整備ほか2事業
	(2)移住促進対策の展開	・定住支援制度の創設 ・日本版CCRC（生涯活躍のまち）構想の可能性調査の実施ほか2事業
	(3)観光人口や交流人口の拡大	・温泉利活用施設の整備 ・観光資源の整備ほか4事業
なかやまの若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現	(1)結婚・出産・子育て支援	・婚活サポート事業や婚活事業実施団体への支援 ・出産祝金の支給 ・子育て支援金の支給 ・三世同居・近居のための助成制度の創設ほか13事業
	(2)ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭生活の調和）の推進	・先導的な企業がワーク・ライフ・バランスを普及 ・男女共同参画計画の推進ほか1事業
なかやまの安全・安心な暮らしと広域連携によるまちづくりの実現	(1)日常生活機能の確保	・国道112号中山町～山形市間バイパスの整備促進 ・国道458号の整備促進 ・地域公共交通事業の新たな展開による運行拡充 ・コンパクトシティ構築の推進（整備計画）の策定 ・健康増進事業の推進 ・介護予防事業の推進ほか12事業
	(2)医療・介護体制等の整備	・医師会との連携による医療体制の整備 ・日曜当番医制度の継続 ・在宅医療・介護サービス提供体制の構築ほか1事業
	(3)広域連携の推進	・定住自立圏の推進 ・県境を越えた市町村との連携を促進ほか2事業

注) 主要な事業の具体的な内容については、今後、事業担当課において制度設計と根拠法令等の整備がなされ、優先順位の高いものから順次、実施に移されます。

- PDCAサイクル：総合戦略については、毎年度、P（計画）D（実施）C（評価）A（改善）サイクルに基づき、中山町政策推進会議において、効果等を検証し、適宜、見直しを実施されます。
なお、中山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画内容については、中山町公式ホームページに掲載しています。<http://www.town.nakayama.yamagata.jp>

中山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

町では、人口減少に歯止めをかけ、本町の地方創生を実現するため、平成27年12月に『中山町まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定しました。

町報1月号では、その概要についてお知らせします。

第1章 人口ビジョン編

人口ビジョンとは、今後、目指すべき町の将来の方向と人口の将来展望を提示するものです。

町の推計人口5,800人

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」では、このままの状況で推移すると2060年（平成72年）の中山町の人口は、5,807人まで減少すると見通されています。

図表1 将来推計人口

項目	国	山形県	中山町
2010年人口①	12,805万人	117万人	12,015人
2060年人口②	8,674万人	61万人	5,807人
人口減少率(②/①-1)×100	△32%	△48%	△52%

目指すべき町の将来の方向

人口ビジョンでは、人口減少時代に対応した戦略的な地域活性化を図るため、町が目指すべき将来の方向として、次の4つの基本目標を定めています。

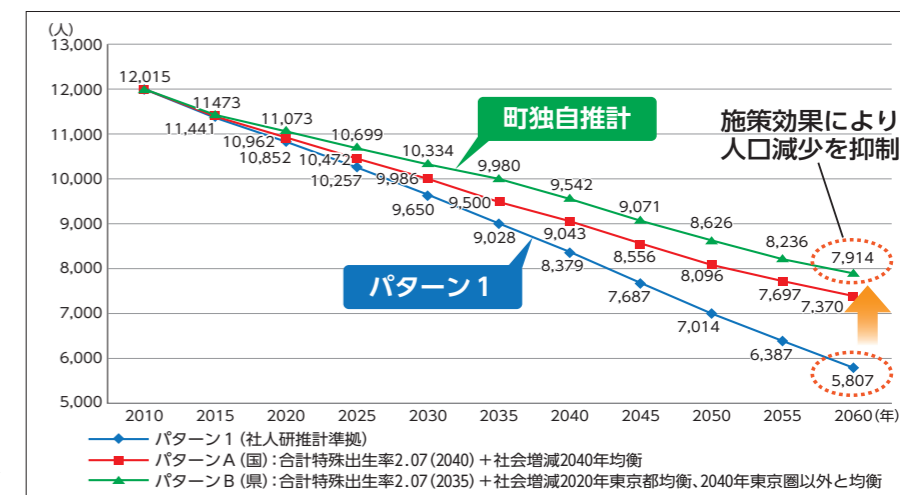
- 「なかやまの資源や立地条件を活かして雇用を創出」
- 「なかやまへ住もう・帰ろうの流れを創出」
- 「なかやまの若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現」
- 「なかやまの安全・安心な暮らしと広域連携によるまちづくりの実現」



町が目指すべき将来人口（目標人口）7,900人

4つの基本目標に掲げた結婚、出産、子育てに関する希望をかなえる施策や子育て世代の定住、UJIターン促進の取組み、地元雇用の促進、若者の転入促進と転出抑制の取組みにより、2060年（平成72年）の町独自推計は、7,914人と設定しました。

この結果、約2,100人の人口減少を抑制する効果が期待されています。



図表2 中山町の総人口の将来展望